

## 鉄道技術推進センターの 技術支援活動

鉄道技術推進センターは、鉄道技術の維持、向上および普及の推進を図ることを目的とし、平成8年7月に発足し、今年で15周年を迎えます。これまで会員に共通する課題を解決すべく鉄道総研の各部門と協力しながら、技術情報の提供、調査研究、技術基準の整備などに取り組んできました。今回、鉄道技術推進センターの事業のうち、会員が抱える悩みや相談に対して技術的なサポートを行う技術支援活動について紹介します。

鉄道技術推進センター 企画課長 中山康二

右の写真は技術支援活動における訪問アドバイスの様子です。会員から寄せられた相談のうち、現地に赴いて調査する必要がある案件については、鉄道総研が委嘱したレールアドバイザーを派遣しています。レールアドバイザーは鉄道技術に造詣が深い鉄道技術者であり、問題解決に向けて技術的なアドバイスを行います。





【訪問アドバイス】  
踏切保安設備の更新について、レールアドバイザーより技術的なアドバイスをしています。

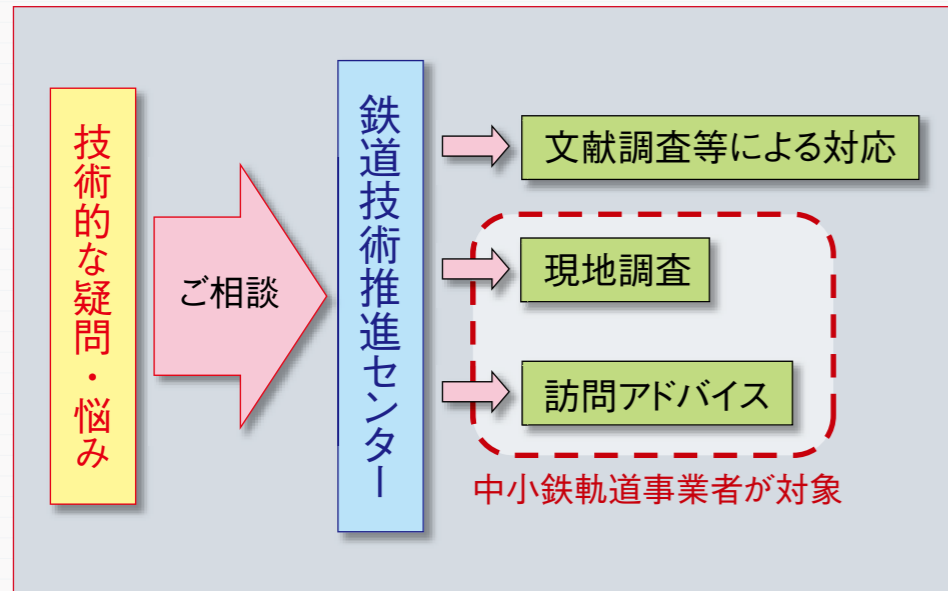
## 地域鉄道の活動

- ①ラッピング電車(上田電鉄)：「自然と友だちー上田」をテーマに18種類の昆虫や動植物をモチーフとしたデザインが描かれています。
- ②動物駅長(北条鉄道 北条町駅)：北条鉄道の北条町駅長にオス(左：らかん)とメス(右：ねひめ)の子ざるが就任しました。子ざる駅長就任の話題は各種メディアでも報じられ、集客力アップにも繋がっています。
- ③車両清掃(平成筑豊鉄道)：地域住民がボランティアで、車両清掃を行っています。
- ④支障木伐採(わたらせ渓谷鐵道)：鉄道存続支援のため、みどり市では住民の協力のもと、列車の運行の妨げとなる支障木を伐採しています。
- ⑤地域鉄道の相互連携(山形鉄道・由利高原鉄道)：沿線住民をお互いに送客し、訪問先の先進的な取り組みを学び、地元鉄道の活性化と利用促進を行っています(写真は山形鉄道主催で、由利高原鉄道へ訪問した時の車両基地見学の様子)。



【現地調査】  
ガードレールと車輪フランジ間の擦り傷の対策について、鉄道総研の研究者が現地にて指導しています。

## 解説 技術支援活動の流れ



鉄道技術推進センターの会員を対象として、事業者が抱える悩みや課題を解決するための技術的支援を行っています。電話やFAXなどで問い合わせ頂き、中小鉄軌道事業者に対しては、必要に応じてレールアドバイザーや研究員を派遣し、技術的なアドバイスを行っています。

## 解説 鉄道教材作成



平成14年から初級技術者向けの鉄道教材の作成に取り組み、『わかりやすい鉄道技術』を作成しました。各鉄道事業者の社内研修においても使われています。また平成20年から中堅技術者向け鉄道教材として、『事故に学ぶ鉄道技術』の作成に取り組んでいます。

## 解説 鉄道技術推進センター講演会

平成15年より全国の主要都市（平成22年度は仙台、東京、大阪、福岡）にて、鉄道技術に関するテーマを取り上げ、レールアドバイザーによる講演会を開催しています。



## 解説 地方鉄道協会での講演

各地方鉄道協会が主催する技術委員会・各種部会などからの依頼により、レールアドバイザーが講演を行っています。

